

龍ヶ崎カントリー倶楽部



2018.10.16

コースレイアウト

生前、氏が最も愛したコース
“井上誠一氏”の代表作

- 2グリーンの傑作（ベント本グリーンの草分け）
- 「谷」が象徴、あるがままの自然を活かしたレイアウト
- バンカーの数、120
- 巧みな動線、メンテナンスまで考えた設計

井上誠一氏の設計思想

井上誠一氏が書かれた計画書には「此のコースの設計上の狙い」として、次のように書かれています。

- (イ) プレー上極力使い勝手の良いものとする。一番、十番の関係やグリーンから次のティーへの渡りなどを重視しております。
- (ロ) 各ショット毎に充分作戦計画を練って向かわねば征服出来ないレイアウトを行います。従って、コースに飽きが来ない、新鮮味を失わない。
- (ハ) 恵まれた立地条件や環境に加えるに美しい造形手法によって
プレーヤーは天国に遊ぶ心持、真に生甲斐を感じるであります。
- (ニ) 各ホールの上の変化を狙っております。此のコースでは、プレーヤーは総ゆる種類のショットをマスターしなければならぬから、此のコースで腕を磨けばどんなコースへ行っても怖れることはありません。

現在進行形の高い評価 日本で有数のチャンピオンコース

■関東屈指のチャンピオンコース

- ・開場1958年
- ・7,047ヤード / コースレート 73.4 / 歩行プレー

■メンテナンスの継続努力

- ・2006年 高麗グリーンのベント化
- ・2007年 新・コース売店の建設
- ・2010年 バンカー改修
- ・2011年 新品種芝(007)の導入
- ・2012年 アプローチ練習場のリニューアル
- ・2015年 シニア&レディースティの完成

各ゴルフ誌での高い評価

■ Choice誌「日本のベスト10コース」連続ランクイン

他に類例のない日本色豊かなゴルフ場。
「日本ならではの起伏の面白さ」と高い評価を受けています。

2018年TOP10

- ・北海道クラシックゴルフクラブ
- ・日光カンツリー倶楽部
- ・龍ヶ崎カントリー倶楽部
- ・我孫子ゴルフ倶楽部
- ・東京ゴルフ倶楽部
- ・川奈ホテルゴルフコース(富士)
- ・廣野ゴルフ倶楽部
- ・茨木カンツリー倶楽部(西)
- ・鳴尾ゴルフクラブ
- ・古賀ゴルフ・クラブ

財務状況

風格ある心温まるクラブ運営の基盤として
健全な財務体質

■ 無借金経営

■ 株主会員制

■ 100% 自社有地

「メンバーシップクラブ」の基本姿勢一貫
和やかなクラブライフ

【龍ヶ崎CCの精神】

「ゴルフ好き」という下に平等

不許冠職入山門(冠職山門に入るを許さず)

ひとたびクラブハウスの扉をくぐれば、社会的地位、肩書はなくなる

- 新入会員懇親会 (年2回)
- 会員名簿の定期発行 (隔年)
- メンバーによる会報誌の定期発行 (年2回)

マッチプレー(年4回)、2ラウンド競技(年3回)など
競技会もメンバー重視

■ 4大競技

倶楽部選手権、理事長杯、キャプテン杯
シニア選手権

■ 定例競技

月例会(Aクラス/Bクラス)、木曜杯、祝日競技、
土曜日競技(年4回)

※ マッチプレー

倶楽部選手権、理事長杯、シニア選手権、キャプテン杯

※ 2ラウンド競技

倶楽部選手権(予選)、理事長杯(予選)、スクラッチ杯

通いつめるための条件 アクセスの良さ、電車で通えるコース

- 電車での来場 (JR常磐線・佐貫駅)
 - ・日暮里から48分 + クラブバス15分
 - ・朝5便、帰り6便(土日)
 - ・朝3便、帰り4便(平日)
- ※メンバーの間で、“電車派”が増加中



- クルマでの来場
 - ・**圏央道が東北自動車道&東関東自動車道路と接続**
 - ・インターチェンジからのアクセス向上

<① 平日会員の募集>

※ () 内の人数は弊社にてご入会頂きましたお客様です。

よりよりクラブ共同体の運営に向けて、“メンバーシップの良さ”を維持しながら
“平日の稼働率向上”を目指しています。

2013年	12名	(4名)
2014年	47名	(17名)
2015年	27名	(6名)
2016年	21名	(11名)
2017年	27名	(8名)

2018年、弊社からの入会者は現在8名

2013年秋以降、“入会者”が増加継続しています。
ご協力ありがとうございました。今後も募集を継続します。
こんな方には是非おすすめいたします。

●平日が自由なシニア世代の方

●将来的に正会員になりたい方

本平日会員が、将来、新たに株式(正会員)を取得され、
名義書換申請により、正会員として入会した場合は、
正会員の名義書換料から100万円を免除いたします。

【会員募集書類の変更願い】

こんな方には是非おすすめいたします。

- ゴルフのマナー・エチケットを重視する方
- クラブライフを重視する方
- 良いコースでプレーをしたい方

募集書類が変更となります。

- 他コース保有者は、ハンディキャップ証明書を提出願います
他コース保有者は、在籍証明書と合わせハンディキャップ証明書を提出ください。
ハンディキャップを持たない方は、新規ハンディキャップ取得時に ハンディキャップ委員の
同伴プレーを要します。

保証人の条件と同伴プレーの有無

- 保証人は単なる紹介者ではなく、入会後の保証人です
保証人は、面識のない入会希望者の紹介を依頼された場合、同伴プレーを行い、
ゴルフのマナー・エチケットに言及していただく。
同伴プレーする場合は、特別な事情のない限り、当コースを利用ください。

【海外名門コースとの新提携】



ロイヤル・クイーンズランド・ゴルフクラブ < ブリスベン / オーストラリア >

Royal Queensland Golf Clubは1920年に現在の場所に設立され、1921年に時の英国国王ジョージ5世によりRoyalを冠することを認められたのですが、その通知文書は後の首相チャーチルが署名しています。2020年に100周年を迎えますが、Australia Open等メジャートーナメントも何度も開催され、アーノルドパーマーやジャックニクラウスもプレーしています。
グレグノーマンはこのプロショップから巣立ちました。現在活躍しているアダムスコットやキャメロンスミスはかつてこのクラブの会員でクラブチャンピオンでした。このほかイアンバーカーフィンチやデイヴィッドグラハムも現在会員となっています。

愛知カンツリー倶楽部と提携開始。



愛知カンツリー倶楽部 < 愛知県名古屋市名東区 >

1954年(昭和29年)10月10日 中部地区戦後初のゴルフ場として、「愛知カンツリー倶楽部東山コース」は開場しました。

ゴルフ場建設候補地として、愛知県が緑を守っていきたいとする牧野ヶ池緑地と森林公園地内の二ヶ所を選定し、井上氏が現地視察を行った。井上氏の視察の結果は、迷うことなく牧野ヶ池緑地を建設地として選択した。井上氏本人が完成後に牧野ヶ池緑地を選択した理由を『自然地形がゴルフコース用地として理想的であり、各ホールが松林などにより自然のままセパレートされており、こんな素晴らしい用地は日本中探しても恐らく得難いと思った。』とゴルフコースの素材として秀逸であったことを語られている。

ABCゴルフ倶楽部と提携開始。



ABCゴルフ倶楽部 < 兵庫県加東市永福 >

ABCゴルフ倶楽部は、日本一テレビ映えるゴルフ場を目指して建設され、1985年に開場した。コース設計は、150以上ものゴルフ場設計を手掛けてきた名匠鈴木正一氏と、プレーヤー目線からの緻密な設計に定評のある佐藤健氏。高低差17メートルの極めてフラットでタフな丘陵コースは、女性も楽しめるコースとして設計された。

トーナメントは開場の翌年(1986年)と3年後(1988年)に「日本女子プロゴルフ選手権」を開催。以降、日本一の規模を誇る男子トーナメント「ラクカップゴルフ」や、PGA TOUR「フィリップモリス チャンピオンシップ」、「ABCチャンピオンシップ」などを毎年開催し、テレビ中継を通じて多くのゴルフファンたちを魅了してきた。現在は「マイナビABCチャンピオンシップ」と「SkyレディースABC杯」を開催し、新たなスター誕生の舞台となっている。

< 提携コースについて >

西宮カントリー倶楽部と提携開始。



西宮カントリー倶楽部 < 兵庫県西宮市仁川町 >

1955年11月開場、「西宮市中心部から約20分」という好立地ながら、「道路と仁川に区切られた地形」「土質が花崗岩地帯で芝が生育するかどうか」が、西宮CCの予定地に対する、井上誠一氏の第一印象だった。

ゴルフ場というだけでなく砂防や大幅な盛り土をするなど治水工事も兼ねるような工事になったが、それを克服して関西を代表するコースとなった。

地形から距離の長いコースは造れなかったので、「面白いコース造り」がテーマとなった。レイアウトに川という自然のハザードを巧みに取り込み、打ち上げのホールではあえてグリーン面の見え方を制限するなど、距離の不足を補って余りある戦略性を備えている。

< RCCのSICCへの来訪 >

【海外名門コースとの交流】

2018年9月19日～24日にかけて、山崎理事長を団長とするRCCメンバーが、友好倶楽部であるシンガポール・アイランドカントリークラブ（SICC）とマレーシアのロイヤル・セランゴールゴルフクラブ（RSGC）に5回目の親善訪問をしました。またこれに先立つ9月12日にはSICCよりChuaキャプテン以下21名のメンバーの来訪がありました。



< RCCのRQGCへの来訪 >

2018年9月21日～23日にかけて、RCCメンバーが、友好倶楽部であるオーストラリア・ブリスベンのロイヤル・クイーンズランド・ゴルフクラブ（RQGC）のRECIPROCAL CLUBS WEEKENDに参加しました。



< RCC来年は60周年 >

2018年は60周年の節目の年

- 日本ゴルフ史を飾るレガシー倶楽部の継承と更なる発展
- 歴史を築いた先達への恭敬と引き継ぐ者としての自覚と責任
- 更に愛され大切にされる倶楽部を目指して
- 「開場60周年記念競技」11月3日(土:祝日)と4日(日)に開催